

令和4年度 ちぐさこども園 学校関係者評価委員会報告

日時： 令和4年 3 月 30 日(木) 11:30～12:00

場所： ちぐさこども園保育室

出席者： 青木忠昭(法人役員)、 靱山英一(同)、 飯島千明(同)、 星川嘉一郎(元市議)、 小熊あみ子(元小学校校長)、 狩野雅道(会社経営)、
阿左見拓也(保護者代表) ※順不同、敬称略 ★コロナ対策として、阿左見氏は書面にて報告&意見交換

1. 本園の教育・保育目標

「意欲」・・・ 面白いことや楽しいことを十分に体験を通して、「～したい」につながるエネルギーを心身ともに培う

「感性」・・・ 様々な体験を通して、感じる心・表現する喜びを味わい、同時に知的な感覚を磨く

「思いやり」・・・ 他者と共にする生活や遊びを通して、友だちと過ごす楽しさや難しさを味わいながら、他者を慮る心や態度を培う。

2. 本年度自己評価と学校関係者評価 本年度スローガン『学び合い』

項目		自己評価		学校関係者評価(意見)
本年度 重点	① 連続性を踏まえた保育課程の見直し	B+	<ul style="list-style-type: none"> 素材の見直しは良かったが、活用方法に工夫の余地あり。 継続には園全体の取り組み要。 	<ul style="list-style-type: none"> どの子どもも元気ハツラツで遊んでいる。 先生方は丁寧に目配りして、一生懸命やっている。大変な労力。 子どもの「やりたい」を実現するため、園一丸となって取り組んでいる。
	② 保護者との情感共有	B	<ul style="list-style-type: none"> コドモン(ICT)の活用状況にはバラツキがあり、園内研究が必要。 多様な保護者に応じた園の対応が今後さらに重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の挨拶が非常に丁寧で、掃除中でも手を止めて明るく返してくれる。 土曜日の保育時間延長はありがたい。 家庭訪問は実施しないのか？(→R5年はなし。それ以降は未定) コールちぐさ(OB 保護者サークル)の出番を作ると良い。
総合		B+	<ul style="list-style-type: none"> 近年の継続的な取り組みが積み重なり、課題が明確になってきている。 保育の質向上には、職員の働き方改革も重要な要素。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価を継続的、全体的にやっていく難しさがよくわかり、その分本取り組みには意義がある。 学童との連携は特徴であり、よく考えて欲しい。(安全面も含めて) 給食が栄養バランスよく美味しい。絵本メニュー等の工夫も素晴らしい。